

南区タウントーク

「連絡所を拠点とした地域のまちづくり」

十二月十一日、定山溪で行われた南区タウントーク。区内の連合町内会長などが集まり、まちづくりの現状と将来像について市長と意見を交わしました。

一人ひとりが取り組むまちづくり

◆藻岩下地区(山本会長) 地域の人に、具体的な内容を示して手伝いをお願いすれば、積極的な協力が得られると思います。

◆真駒内地区(佐藤会長) 連合町内会の中にもNPO(民間の非営利団体)がたくさんあり、多岐に渡る活動をしていることを理解してください。

◆市長から まちづくり活動は、漠然と参加を促すよりも、具体的に「この仕事を手伝ってほしい」と申し出た方が効果的です。また、町内会やNPOが中心的な役割を担っているのは大変結構なことですが、個々に活動している方たちとも連携し、幅広いネットワークを形成すれば、まちづくりもさらに活性化していくと思います。

行政との協働によるまちづくり

◆石山地区(福士会長) 連絡所をまちづくりセンターとする構想について、どこまで地域に任せただけですか。

◆藻岩地区(高瀬会長) 町内会は行政の下請けばかりという声もありますが、私たちの手でまちづくりを行うのだという意識が必要と考えています。



◆市長から 地域のまちづくりは、市民自身が主人公だと考えること、地域に何が必要か意見を話し合うことが大切です。まちづくりセンターはそのような活動の拠点にしていきたいと考えています。



◆藤野地区(庄司会長) 地域で花いっぱい運動をしています。今年度でまちづくり事業の予算支援が終了しますが、地域で力を合わせ、何とか続けていきたいと考えています。

◆澄川地区(大石会長) 共通する課題がある地区では、区境を越えて広域的に事業が展開しやすい仕組みづくりを検討してください。

◆芸術の森地区(高橋会長) 音楽祭や地域のホームページ作成など、さまざまな活動をしています。市の本庁部局の情報に地域に伝わりやすいシステムづくりが必要だと思っています。



地域の魅力を発信するまちづくり

◆簾舞地区(湯瀬会長) 子どもたちの自然を大切にすることをはぐくんでいける地域にするため、地域に生息する国蝶オオムラサキの保護活動をしています。

◆南沢地区(及川会長) 南沢といえば「ラベンダー発祥の地」といわれるように、さまざまなまちづくり活動を盛り上げていきたいと考えています。

◆定山溪地区(中西会長) 住民が一丸となって、温泉のある地域としての特色を生かしたまちづくりを目指したいと考えています。

◆市長から 南区には独自の歴史があり、芸術・文化活動も盛ん。地域から発信される文化が札幌全体の文化を支えているのは素晴らしいことです。そして、地域の人たちの「ふるさと」として、心のよりどころとなる地域づくりを行うことも大切。オオムラサキの保護やラベンダーの栽培など、自然とともに地域の魅力を発信していくことが、活性化につながっていくと思います。

傍聴席から



◆傍聴者から 藤野に図書館をつくるための活動をしています。ビジネスや文化が生まれるような、司書のいる図書館を設けてください。

◆市長から これからも、皆さんから市政に対する意見をどんどんお寄せいただいで、できることをしっかりとやっていきたいと思います。

